

令和6年度

事業報告書

社会福祉法人

報恩積善会

令和6年度 事業報告書

1. 事業成績関係

社会福祉法人 報恩積善会

(1) 入退所状況

(R7.3.31 現在)

区分	男性	女性	計	備考
前年度繰員	26	41	67	
令和6年度入所	5	1	6	本年度取扱増人員
計	31	42	73	本年度取扱人員
令和6年度退所(死亡)	4	3	7	本年度取扱減人員
令和6年度末現在	27	39	66	次年度繰人員
令和6年度入所取扱人員		73名		
令和6年度入所延人員		23,708名		

(2) 創立以来の入退所状況

区分	入所人員
男性	621
女性	716
計	1,337
創立以来入所実人員 1,337名	

(3) 実施機関調べ

委託機関	男性	女性	計
岡山市	18	30	48
倉敷市	1	1	2
総社市	1		1
浅口市		1	1
新見市	1	4	5
高梁市		1	1
津山市	1		1
美咲市	2	1	3
奈義町		1	1
備前市	1		1
笠岡市	1		1
美作町	1		1
計	27	39	66

(4) 利用者の入所前状況

前住所区分	男性	女性	計	割合
居宅から入所	12	16	28	42.4%
病院から入所	8	17	25	37.8%
他施設から入所	7	6	13	19.6%
その他	0	0	0	0%
計	27	39	66	100%

(5) 年齢構成

	64才 以下	65才 ～69 才	70才 ～74 才	75才 ～79 才	80才 ～84 才	85才 ～89 才	90才 ～94 才	95才 ～99 才	100才 以上	計
男	0	3	5	7	5	4	3	0	0	27
女	1	1	4	6	8	6	11	1	1	39
計	1	4	9	13	13	10	14	1	1	66
最高年齢	男性 91 才 女性 100 才									
平均年齢	男性 81 才 女性 87 才 男女平均 82 才									

(6) 在所期間

	20年以上	10年以上	5年以上	1年未満	計
男	0	4	19	4	27
女	2	11	25	1	39
計	2	15	44	5	66

(8) 月額負担状況

階層	金額	男	女	計
1	0	2	2	4
2	1,000			
3	1,800	1		
4	3,400			
5	4,700	1		1
6	5,800	1		1
7	7,500			
8	9,100		1	1
9	10,800		2	2
10	12,500		1	1
11	14,100		1	1
12	15,800		1	1
13	17,500			
14	19,100			
15	20,800		2	2
16	22,500	1	1	2
17	24,100			
18	25,800			
19	27,500	1		1
20	30,800	2	2	4
21	34100		1	1

階層	金額	男	女	計
22	37,500			
23	39,800	4	4	8
24	41,800		2	2
25	43,800	1	4	5
26	45,800	4	1	5
27	47,800	1	2	3
28	49,800	1	1	2
29	51,800		2	2
30	54,400		3	3
31	57,100	2		2
32	59,800		1	2
33	62,400	2	1	3
34	65,100	1		1
35	69,100	1		1
36	73,100		2	2
37	77,100			
38	81,100		1	1
39	下記参照			
	96,500		1	1
	121,000	1		1
	計	27	39	66

39階層（年額収入 1,500,001 円以上）の人は、 $(150 \text{ 万円超過額} \times 0.9 \div 12 \text{ 月}) + 81,100 \text{ 円}$

※ 備考 上表にかかわらず、140,000 円を当該徴収月額とする。

2. 地域福祉関係

(1) 老人短期入所事業

種類	利用者数	延日数	委託機関	利用料 (一泊)
ショートステイ	(男) 0名	(男) 0日	岡山市 (定員1名)	生活保 3,760円
	(女) 0名	(女) 0日		その他 2,030円
短期入所自主事業	(男) 1名	(男) 1日	自主事業	入所対象 2,200円
	(女) 0名	(女) 0日		上記以外 5,000円
計	1名	1日		

(2) ショートステイ利用状況

年 月	利用者数	延日数
R6年4月	1	1
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0

年 月	利用者数	延日数
11月	0	0
12月	0	0
R7年1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0
計	1	1

(3) 配食・会食サービス実施状況

種類	実施形態	利用者数
配食サービス	毎週月・水・金曜日の昼食	11名
会食サービス	毎日・毎食可	1名

(4) 施設の貸与

笹が瀬町内会、つしまみんな食堂、津島地区社会福祉協議会 (車の貸出)

3. 処遇関係

(1) 主な年間行事実施状況

令和6年4月	ひな祭り・お花見・お花見ドライブ
5月	
6月	大掃除
7月	蓮見学・地域交流会
8月	七夕祭り・盂蘭盆・納涼の夕べ
9月	敬老の日・創立記念日

10月	運動会・秋の検診・ほうせき☆祭り
11月	積善会祭
12月	クリスマス会・忘年会・餅つき・すす払い・門松づくり
令和7年1月	新年会・初釜
2月	節分会
3月	彼岸会・健康診断

(2) 月間行事実施状況

誕生会は昼食時に各階分かれて実施し職員と入所者が一緒にお祝いを行った。また午後の時間からは食堂に集まりカラオケ大会を行い毎回40名程度の入所者が参加された。

売店、移動図書、常会等については計画どおり行った。

喫茶については、週3日地域ボランティアの協力により実施し毎回15名程の方が参加されボランティアの方との交流も図りながら楽しみに利用されている。

消防訓練2回、災害時避難訓練を1回実施。地域での連携も検討しながら入所者の安全を図るよう訓練を実施した。また地域の自主防災訓練にも職員が参加し交流を図った。その他BCP訓練を兼ねて、職員の安否確認訓練・机上訓練等も適宜実施し非常時の体制整備を行った。

(3) クラブ活動実施状況

種別	参加者数	回数	種別	参加者数	回数
生け花クラブ	13名	週1	カラオケクラブ	16名	月4
茶道クラブ	3名	月1	手芸クラブ	10名	月2
押し花クラブ	12名	月1	習字クラブ	7名	月1
水彩画クラブ	3名	月1	園芸クラブ	3名	隔週
ギタークラブ	3名	月1	ほうせき同好会	7名	月2
メダカクラブ	4名	月1	マイクラフト	3名	週2
ハンドベルクラブ	4名	月1			

カラオケクラブ、ほうせき同好会、マイクラフトは地域住民が主体で開催する等楽しみや地域交流の場となっている。

施設外活動実施状況

お花見、ハス見学、紅葉見学、イルミネーション見学、初詣はドライブを兼ねて複数回に分けて実施し入所者の方に大変好評であった。

(4) 入所者の健康管理

定期検診：血液検査（9月）、インフルエンザ予防接種（11月）、定期健診：胸部レントゲン・心電図・血液検査・内科検診（3月）、コロナワクチン予防接種（12月/希望者のみ）

4. 実習受け入れ状況

- ①介護等体験 16名（岡山大学、就実大学、岡山商科大学等）
- ②明誠学院高等学校 8名
- ③中学校職場体験（香和中学2名 京山中 0名）
- ④ホテル清心女子大学 4名

5. 職員の処遇

(1) 施設外研修

月	出張先	参加者	出張内容
5月	岡山市 岡山市	施設長 施設長	岡山県老施協 次世代委員会総会 岡山県老施協 監事監査・理事会
6月	笠岡市 岡山市 岡山市 オンライン 岡山市 岡山市	介護職員 生活相談員 施設長・介護職員 施設長 施設長 事務長・生活相談員	特別養護老人ホーム天神荘への見学 社会福祉士実習指導者アップデート研修 福祉人材確保・定着セミナー パーフェクトな意思決定 岡山県老施協 第1回総会 岡山県老人福祉施設研究大会（事例発表）
7月	岡山市 オンライン 岡山市 オンライン 岡山市	施設長・生活相談員 事務長 施設長 事務長 介護職員	L I F E加算算定について 養護老人ホームについて徹底的に考えるシンポジウム 岡山市老施協理事会・岡山市との懇話会 身体拘束を徹底理解！具体的ステップと現場ノウハウ 介護職員のための文章能力向上研修
8月	オンライン 岡山市	事務長 施設長	ルールとマナーは必要なのか？ 岡山県老施協養護部会施設長会
9月	岡山市 岡山市 オンライン 松江市 松江市 岡山市 岡山市	施設長 事務長 施設長 事務長・生活相談員 看護・調理・介護職員 栄養士 介護職員	岡山県老施協 次世代委員会 第1回幹事会 岡山県経営協セミナー 行動が変わる経営計画書の立て方 中国地区老人福祉施設研修大会（発表） 中国地区老人福祉施設研修大会 集団給食の衛生管理 養護老人ホーム困難事例検討会
10月	オンライン 岡山市 岡山市 岡山市 岡山市	施設長 施設長 事務長 施設長・生活相談員 施設長	パーフェクトな意思決定 多様で柔軟な働き方推進フォーラム2024 公正採用選考人権啓発推進員研修 介護施設の経営ノウハウセミナー 岡山県福祉・介護人材確保対策推進協議会実務者研修

	オンライン	事務長	育児・介護休業法の概要と対応手段
11月	オンライン 岡山市 岡山市 倉敷市 岡山市	事務長 施設長 事務長 事務長・介護・看護職員 施設長	IDO オンライン研修担当者会議 岡山市老施協 役員会 岡山市福祉避難所説明会 特別養護老人ホーム元気の家見学・排泄ケア 外国人介護福祉士受け入れセミナー
12月	岡山市	介護職員	養護老人ホーム取組結果報告会
1月	オンライン 岡山市 オンライン 岡山市 オンライン	事務長 施設長・事務長 事務長 施設長 施設長	義務化された委員会運営マニュアル 岡山市老施協役員 事務部会 介護サービス事業者経営情報提出義務化の実務 岡山県老施協 養護老人ホーム部会 施設長会 介護外国人人材セミナー
2月	岡山市 岡山市 岡山市 岡山市 岡山市 岡山市 オンライン	事務長 施設長 施設長・相談員・介護職員 施設長 理事長・施設長・事務長 事務長 生活相談員	公正採用選考人権啓発推進員研修会 おかやま矯正施設見学ツアー 岡山県介護生産性向上事例発表会 岡山県老人福祉施設協議会理事会 社会福祉法人役員セミナー 経営協セミナー ソーシャルワーク実習 実習指導者オンライン交流会
3月	オンライン 岡山市 オンライン 岡山市	事務長 栄養士 生活相談員 生活相談員	介護現場における生産性向上推進フォーラム 給食施設栄養管理者講習会 LIFF 第2回説明会 集団指導

(2) 施設内研修

実施回数	研修名	対象者
毎日	朝礼と職種別ミーティング	出勤職員
毎月1回	常会	職員・入所者
年1回(2月)	事業計画検討会議	役職者及び部署リーダー
年1回(3月)	事業計画発表会議	全職員
年2回(6・11月)	防火避難訓練	職員・入所者
年2回(12・3月)	災害時避難訓練(BCP) (職員研修・職員会議)	職員・入所者
5月	養護老人ホームについて	全職員
7月	高齢者虐待防止について	〃
9月	身体拘束排除について	〃

11 月	感染症・食中毒予防について	〃
1 月	介護予防について	〃
毎月	法定研修（オンライン）	常勤及び非常勤職員

（３）職員健康管理

全職員年 1 回の定期健康診断、夜間勤務のある介護職員は年 2 回行った。調理員には毎月 1 回の検便とノロウィルス対策の検便を実施した。11 月にはインフルエンザワクチンの接種を行った。

（４）広報活動・情報公開

入所者、家族、後援会会員を対象に広報「ほうせき」を年 1 回発行。また「HOUSEKI NEWS LETTER」を発行し地域への広報を行った。併せてホームページに活動予定や報告、財務諸表の公開など積極的な情報開示を行った。また SNS を活用し日常の活動や入所者・職員の取り組みの発信、京山公民館にチラシの設置と施設紹介等の広報活動を行った。

入所者が製作したエコバックには当会の他、エコバック設置場所の HP や SNS の QR コードを貼付し、コンビニや薬局、公民館等で配布し広報ツールとしても活用した。

苦情解決のために第三者委員会を設置しているが、第三者委員会を開催しての苦情はなかった。入所者・職員等日々の悩みや相談はその都度個別に傾聴し早急な改善へつなげるよう改善の取り組みを実施している。

（５）福利厚生

職員親睦会助成、独立行政法人福祉医療機構、岡山県民間社会福祉従事者共済制度・育成制度、福利厚生センター、岡山市勤労者サポートプラザへの加入を継続し職員全体の福利厚生の充実を図った。介護福祉士や喀痰吸引研修等の資格取得、外部研修への参加者に対して勤務調整や参加費用の助成を行った。

6. 栄養管理

栄養基準量を定め、献立は入所者の希望を取り入れた。また、嗜好調査や日々の残菜調査を実施、味付け、盛り付けを工夫し旬の食材を積極的に取り入れ季節感のある食事を提供した。

お元気な方には好みに合わせて食事がとれるようカフェテリア方式で食事をとっていただき、また食堂や各階フロアを装飾し明るく楽しく食事ができるように工夫している。

7. 地域における公益的な活動

毎月第 4 金曜日は地域交流・認知症カフェ「ほほえみカフェ」を開催。ボランティアの方の協力で毎回 12 名程度の参加者があり、認知症の啓発と共に他職種で講座を行いながら地域住民との交流の場にもなっている。

社会参加とやりがい作りの場「マイクラフト」は、地域の方を中心に週2回継続した活動を実施。製作した作品は、小学校や子ども食堂を通じて地域の子育て家庭にお渡しするなど地域の居場所づくりとして開かれた施設運営を実践している。

「エコバックでレジ袋削減活動」は、入所者の方の社会参加とやりがい作りになっており数名の方が制作を継続している。エコバックはコンビニ、銀行や公民館等に置かせて頂き、地域全体での取り組みとして報恩積善会を知って頂くきっかけになっている。また施設や設置場所の企業QRコードやHPアドレスを乗せ地域での協働活動となるよう取り組んでいる。

11月には積善会まつりを開催し近隣の方を中心に職員も地域の方との交流の場となった。

津島生活学校（津島学区のボランティア団体）と協働し、毎月京山公民館で実施しているフードドライブで集まった物品を受け取り、近隣のこども食堂へ提供する中間支援の取り組みも継続。こども食堂だけでなく母子家庭の支援団体等幅広く物資を届けている。他団体との連携を図ると共に、地域でのつながりを作りながら支援につなげることができた。

地域住民が運営している「つしまみんな食堂」と協働し、春・夏・冬休みに子育て家庭へ王将弁当配布活動を実施。また年末には門松づくりのワークショップ、2月につしまみんな食堂を施設内で開催した。報恩積善会でもボランティアの周知、チラシ配布、フードドライブでの物資支援や協働、入所者の社会参加活動等連携を継続している。